

みなさん

こうした中で、一九八六年六月七日ソウル近郊の富川市で、富川署に連行され、取り調べを受けていた女子労働者の権さんが、不当にも性的拷問を加えられるという事態までひきおこされました。

権さんは、ソウル大を除籍され、仁川地域で労働者となって闘い続けていましたが、労働運動を弾圧しようとする当局によって逮捕されました。警察では、権さんに過酷な取り調べと拷問を加え、ともに闘ってきた仲間について自供するように迫りました。権さんがこれを拒否すると、富川署は、組織的、計画的に同署の文責童という刑事を使って性的拷問を行ったのです。

権さんは、何度も自殺の衝動にかられたが、一二度とこのようにことが繰り返されてはならない」と獄中からこれを告発、たちあがりました。

この勇気ある告発によって、韓国では、このことが、大きな社会問題となり、全国二三女性団体による抗議声明をはじめ、各界各層に闘いが拡がり、拷問暴露大会がソウルの明洞大聖堂で開かれるなど、激しい攻防戦が繰りひろげられました。

獄中では、果敢に闘う政治犯に対し、性的拷問を含めて数々の弾圧が加えられています。全国各地の矯正所では、矯正官や警官による集団暴行が行われ、抗議の自殺未遂が相次いでいます。また、女性政治犯に対する性的拷問は後を絶たず、権さんの問題はまさに氷山の一角といえます。

こうした弾圧と闘いを覆いかくして、アジア大会が強行された。中曽根首相は「日韓の関係修復のため」、いち早く韓国を訪問しています。藤尾発言に見られるように朝鮮侵略を正当化し、全斗煥政権への新たなテコ入れ、経済・文化などあらゆる面での侵略の強化など、韓国民衆の闘いに敵対する日本の姿が今や浮き彫りになっています。

私たちは、このような女性に対する性的暴力な強圧を許すことができない。また同時に、いかなる全斗煥政権を支える日本のありかたを変えて行かなければならないと痛感しています。

このように思いから、私たちはこのまま黙って見過ごすにしのびず、ここに署名運動を行うことにいたしました。

日本全国のみなさん！
ぜひこの「抗議署名」に男性も女性もともに協力してくださるよう心からお願いします。

よびかけ人

小川ルミ子 川田泰代 紀平悌子 清水澄子 高山真樹 中山千夏
松井やより 宮本なおみ

私たちは貴国の富川警察書において女子拘束者権さんに加えられた性的な拷問を決して許すことができません。

権さん、そして多くの女子拘束者に対する性的な弾圧を即刻中止するようここに強く要望します。同時に、民主統一を求めて闘う多くの民衆を不当にも拘束し、拷問の数々を加えていることに強く抗議します。ただちに拘束者への弾圧を中止し、全拘束者を即時釈放するよう強く要求します。

一、権さんに性的拷問を加えた当局は責任をとること

一、女子拘束者への性的拷問を中止せよ

一、すべての拘束者への拷問、弾圧を中止せよ

一、すべての政治犯を即時釈放せよ

全斗煥 大統領閣下

[illegible]